

第22回生涯学習サロン特別講話(開講式・閉講式)のご案内

1. 開講式特別講話 「よりよく生きるとは」

講師 橋本五郎 先生 (読売新聞特別編集委員)



1946年秋田県生まれ。1970年慶応義塾大学法学部政治学科卒業後、読売新聞社入社。75年に本社社会部、76年より政治部、論説委員、政治部長・編集局次長を歴任。99年からは日本テレビ系列「ジパングあさ6」「ズームイン!!朝」でニュース解説を担当。2006年より現職。日本テレビ「スッキリ!!」、読売テレビ「ウェークアップ! ぷらす」、「情報ライブ ミヤネ屋」にレギュラー出演。2014年日本記者クラブ賞受賞。主な著書に、『心に響く51の言葉』(中央公論新社)、『総理の覚悟』、『総理の器量』(中公新書ラクレ)、『「二回半」読む』、『範は歴史にあり』(藤原書店)他

私にとって模範となるべき生き方をした人を取り上げたいと思います。政治家では中曽根康弘さんです。今年99歳、少し耳が聞こえなくなりましたが、毎日毎日勉強しています。「生涯一書生」として、いくつもの人の輪を作り、その人達を大切にしています。だから「いざ鎌倉」というときに、みんなが助けてくれたのです。

高校(秋田高校)の校長先生、鈴木健次郎先生は私達に、いつ、いかなる時にこう問われても、直ちに答えられる人間になりなさいと言われました。それは「汝、何のためにそこにありや」です。難問です。でも、今なお、その問いが付きまとって離れません。

私にとって母もそうです。自分の母親のことを言うのは気が引けますが、多くのことを学びました。

2. 閉講式特別講話 「皇室のお姿～皇位継承問題を考える～」

講師 竹元正美 先生



早稲田大学法学部卒業後、外務省入省。ヒューストン総領事、ホンジュラス大使、ウルグアイ大使など41年間に及ぶ外交官生活。この間、宮内庁東宮侍従及び式部副長も務める。現在は、一般社団法人国際文化教育協会理事長、公益財団法人日本スペイン協会理事長などを務める。

著書:「米百俵 海を渡る」(日之出出版)、「我は日本人なり」(電子書籍、オモイカネブックス)、「皇室ってなんだ」(扶桑社)

昨年、天皇の退位等に関する皇室典範特例法が国会で成立し、いよいよ、今上天皇が退位し、皇太子殿下が新天皇に即位することになります。しかし、次世代の皇位継承者は、秋篠宮家の悠仁さまお一人しかおりません。皇位を如何に安定的に継承していくかが問われております。一方、秋篠宮家の眞子さまは結婚され、皇室を離れることになります。将来、他の女性皇族も結婚していくと、皇族の数は一層減少していくことになります。皇室は、大きく変わろうとしております。

このような背景のもと、皇室のお姿について、歴史的経緯を踏まえ、今後の展望について皆様と一緒に考えてみたいと思います。私自身経験した皇室におけるエピソードなどについてもお話ししたいと思います。

第22回生涯学習サロン概要紹介 第1週(3月8日)

*印 外部講師

<p>第1週 A</p>	<p>題名：医療機能分担と医療連携 —より良い医療を受けるために—</p>	<p>久野 久夫</p>
<p>近年、救急医療（一次～三次救急）だけでなく、日常の診療においても地域の病院や診療所が、それぞれの持つ医療機能を分担し、かつ連携しながら必要な医療を進めていくことが求められています。この分担と連携の流れに沿った効率的で質の高い医療の推進を図るに際して、まず最初の重要な役割を担うのが、所謂「かかりつけ医」です。本講座では、この「かかりつけ医・かかりつけ薬局」を始めとして、各医療機関の機能別分類、その役割や受診に際しての“注意点”や“コツ”等について皆様と一緒に考えていきます。</p> <p>主な解説：特定機能病院、地域医療支援病院、一般病院、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、主治医、かかりつけ医、インフォームド・コンセント、セカンドオピニオン、医師にかかる際の10ヶ条</p>		
<p>第1週 B</p>	<p>題名：歌声サロン Concone50、日本歌曲、イタリア語及び英語の名歌の演唱</p>	<p>山形 忠顯</p>
<p>《Concone50 op.9》第5、8、1曲を歌唱して、実践的なレガート唱法をマスターしましょう。</p> <p>〈この道〉(山田耕筰)、〈別れの歌〉(中田喜直 1972年札幌オリンピック冬季大会閉会式のため作曲された曲)を正しく、美しい日本語で、心を込めて唱いましょう。</p> <p>〈Santa Lucia〉(T.Cottrau)を快く響くイタリア語で、「ベル・カント」しましょう。</p> <p>〈Dreaming of Home and Mother〉(J.P.Orday) 懐旧の情溢れる唱歌〈旅愁〉(明治40年)の原曲を、英語歌詞で唱いましょう</p> <p>☆ 楽譜は当日配布しますが、予習しておいていただくと、一層、成果が上がります。</p>		
<p>第1週 C</p>	<p>題名：地球一周の船旅・その後</p>	<p>田中 信昭</p>
<p>7回前の第15回「生涯学習サロン」(2009年)において、「108日間地球一周の船旅・その光と影」と題して、100分にまとめたDVDをご覧頂きながら、寄港した先々での楽しく輝いている部分とその国の抱える問題・影の部分についてご紹介し、幸いご好評を頂きました。私自身も懐かしい思い出に浸ると共に、あの問題はその後どうなったのだろうと気になっていることもありました。今回はそのうち特に「海賊」「キューバ」そして大好きな「ガラパゴス」についてその後の状態を探ってみたいと思います。</p>		
<p>第1週 D</p>	<p>題名：相続であわてないために今出来ることを</p>	<p>* 内田 薫</p>
<p>一般に相続と言いますとまず浮かぶのは相続税申告と納税ではないでしょうか。</p> <p>また、うちにはそんなに財産はないから相続は関係ないとお思いの方が多いようですが、最近はそのに隠れた問題を発生させています。相続は誰でも経験します。たとえば、親の形見分けも相続ですね。</p> <p>今日は、誰にでも身近に起こる相続と、平成27年の相続税改正のお話をいたします。</p>		

第22回生涯学習サロン概要紹介 第2週(3月22日)

第2週 A	題名:激動する習近平の中国を考察する	渋谷 文雄
<p>習近平は5年ごとに開催される第17回共産党大会(2007)で、最高の執行機関である政治局常務委員7人に選出され、18回大会(2012)では7人の長となる総書記に就任。強力な反腐敗闘争を通じて党内権力を固め、国家主席も兼ねた「党中央の核心」と言う、毛沢東と同じ呼称で呼ばれる権威を確立。第19回党大会(2017)では7人中5人が退任。後任には習近平念願の「中国の夢」実現に賛同する委員を抜擢。先にAIIB(アジアインフラ投資銀行)を主導して設立。更に400億ドル規模の基金を準備、アジアと欧州を陸と海で繋ぐ新たなシルクロード「一帯一路」構想実現の夢に全力を注ぐ気構えである。彼の「夢」は、党創立100年(2020)までに基礎を固め、国家創立100年(2049)に完成する計画だが、日本の対応を考えてみたいと思います。</p>		
第2週 B	題名:フラダンスを楽しんで、ハワイを満喫!	* 梶原 幸恵
<p>ハワイアンのリズムに乗ってゆったりと身体を動かす、おなじみのフラダンスは見た目より、かなりの運動量です。</p> <p>フラ曲から学ぶ、歌本来の意味、ハワイの人々に綿々と受け継がれて来た心、歴史、文化が私の心を捉えます。</p> <p>海外旅行人気No.1のハワイ!旅行記の中の常夏の国、エメラルドグリーンの海、激しく噴火する火山等の、本の中からは見えないもう一つのハワイをお話ししたいと思います。</p> <p>そして勿論実技も!フラは「カヒコ=古典・神々や王様に捧げるフラ」と「アウアナ=現代的・ギター・ウクレレ等の旋律で、踊るフラ」に区分されます。今回はアウアナを主に体験して頂きます。どうぞ動きやすい服装でご参加下さいませ。</p>		
第2週 C	題名:懐かしの映画とその音楽(19)	立川富美代
<p>カサブランカ (原題 Casablanca)</p> <p>1942年アメリカ映画</p> <p>主演:ハンフリー・ボガード、イングリッド・バーグマン、ポール・ヘンリード</p> <p>監督:マイケル・カーティス</p> <p>ストーリー:メインとなるのはラブロマンスであるが、舞台は戦争中のカサブランカで、戦争の色が濃い。反ドイツ表現も随所に見られる。ラブ・ロマンス映画として、娯楽作品としての性格が強いが、反枢軸国プロパガンダ作品としてもみられる。アカデミー作品賞をはじめ、多数の賞を受賞した。渋いハンフリー・ボガード、美しいバーグマンと共に主題歌もお楽しみください。</p>		
第2週 D	題名:和算ワールドを覗いてみよう	下山 邦夫
<p>江戸時代の数学=和算=は、算聖と呼ばれる関孝和(1642頃~1708)ら数学者の研鑽で独自の発達を遂げました。世界でも初めての発見をするレベルまでになっていました。一方、庶民のための算術指南も普及して、代表的教科書である塵劫記(1627初版、吉田光由著)は大ヒットし、改定版や〇〇塵劫記、塵劫記〇〇、など多くの異本が出て、ミリオンセラーになりました。それらには、面白い数学パズルが載っています。江戸時代の市民の数学的素養はそろばんの普及と合わせ、世界中で最も進んでいたと思われています。江戸庶民が学んで活用した和算の姿を垣間みましょう。和算パズルを実際にやって楽しみながら、和算の世界をやさしく覗いてみたいと思います。</p>		

第22回生涯学習サロン概要紹介 第3週(4月12日)

第3週 A	題名:命を共に語り合うサロン	杉山 友一
<p>昨年の学習サロンでは「超高齢社会の難題」と題して、会場の皆さんと話し合いの機会を持ちましたが、本年は一步進めて「命を共に語り合うサロン」と致しました。一昨年、音楽家の小椋佳さんが「命はいつも生きようとしている」という新曲をリリースしました。如何にも命の的を言い当てて、しっとりとした共感を呼ぶ作品です。学習サロンでは、まず初めにこの曲を聴き、詩を辿りながら、加えて、昨年、英国 BBC 放送からも注目を浴びた小林麻央さん（若くして亡くなられた市川海老蔵氏夫人）のブログの綴りに触れて「命の尊さ、大切さ」・「命の力」をテーマにご一緒に考えてみたいと思います。そして更に、遠く日本人の心の原姿を訪ね、封建武家社会、そして明治から昭和を経て、今の時代に繋がる命の在り様についてまで話題を広げてみたいと思っています。</p>		
第3週 B	題名:絵手紙 筆と墨に親しむ	池田 ときえ
<p>今回は筆と墨の絵手紙です 筆と墨は今までも折々には使っていましたが本気で向き合ってみてみたいと思います。 どなたも中学生ぐらいまでは学校の授業で手にしていた筆ですが、今はご縁が遠くなりましたね。筆記具といえばボールペン・シャープペンシルが主流の現代、筆はあまり出番がありませんが、そのやわらかい穂先、含んだ墨の量による滲みとかすれはほかにはない魅力です。初心に帰って筆の扱い、線の練習、墨の濃淡を学びましょう。 はがきのほかに少し大きな和紙も用意します。絵でも字でも大きくのびのびと描いてください。春の花と野菜が待っています。いつものように道具類は準備します。気軽にご参加ください。</p>		
第3週 C	題名: 野菜の生産・流通の現状	大澤 敬之
<p>農林水産省で長年野菜行政に携わった経験を活かして野菜の生産から消費までの実態をご説明したいと考えています。野菜の産出額は2兆 2,421 億円であり、我が国の農業産出額全体の3割程度を占めており、野菜農業の役割は、重要な地位を占める。しかしながら、野菜生産者の高齢化による労働力不足、需給率の低下等、多くの課題を抱えている。このような野菜農業の生産・流通の実態を皆さまと伴に勉強して行きたいと思っています。 野菜の品目別、生産時期別、野菜産地における生産状況を知った上で消費実態を見て行きましょう。生産された野菜がどのような流通形態をとってスーパーマーケットに届き、消費者に渡るのかを知るとともに、野菜の輸入動向と国内需給の実態も検討してみたいと思います。</p>		
第3週 D	題名: 介護保険制度に基づく福祉用具について	岩島 寛
<p>日本人の平均寿命は女性が87歳、男性が81歳となり、世界のトップレベルではありますが、問題も抱えています。それは平均寿命と健康寿命（自立して生活できる寿命）との間に10年前後の隔たりがあり、この10年間は介護される期間であって、この期間を如何に短くするか、言い換えれば、健康寿命を如何に延ばすかが大きな国家課題となっています。 19年間にわたり福祉用具の開発・販売に携わってきましたので、2000年から始まった我が国の介護保険制度に基づく福祉用具貸与（レンタル）商品及び販売商品についてお話をし、これから介護したり、されたりする事態が来た時のための予備知識として参考になれば幸甚です</p>		